

1(7) 令和6年能登半島地震によるため池の被災状況

- 地震により、奥能登地域の防災重点農業用ため池へのアクセス道路が至るところで被災し、陸上からの点検が困難だったことから、ヘリコプターからの空撮写真により、ため池の被災状況を確認（78か所）。
- 被害が確認されたため池については、下流の住民等への避難周知を行ったほか、道路啓開後は、排水ポンプによって水位を低下させるとともに、水位計を設置し、遠隔地から安全にリアルタイムで監視。

ヘリコプターによるため池の被災状況の確認



MAFF-SATの搭乗

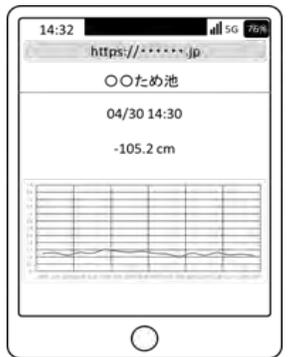


ヘリからのため池被災状況の空撮

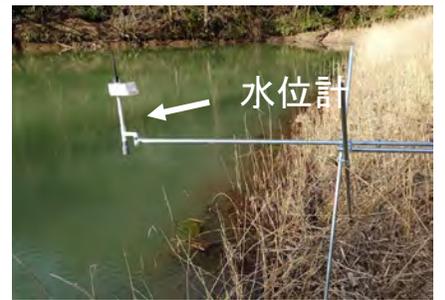


空撮写真によるため池の被災状況の確認

水位計による遠隔監視



スマートフォンによるモニター画面（イメージ）
（水位情報は自動的にグラフ化）



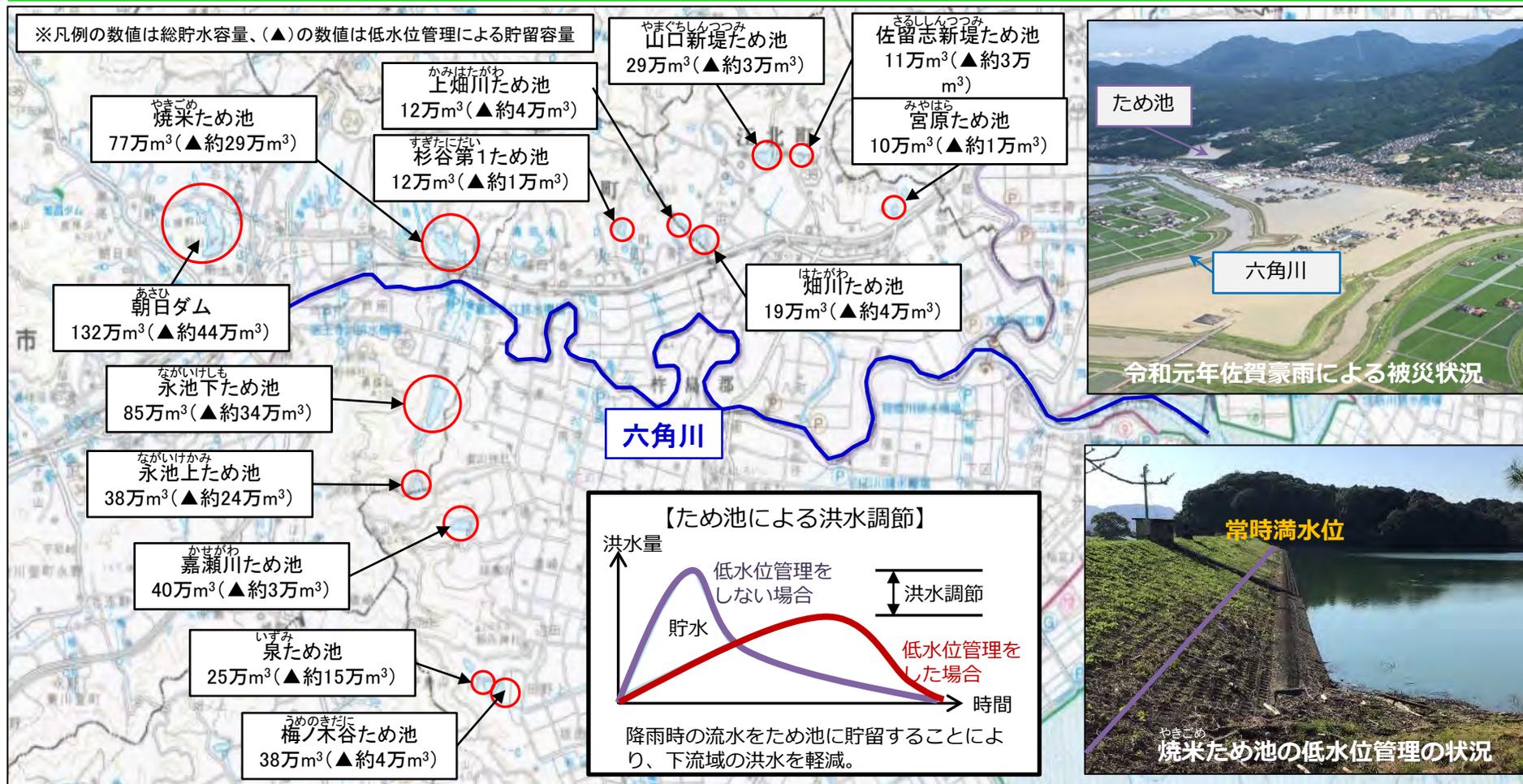
現地設置状況

2 ため池関連のトピックス(1)

【流域治水】

- 佐賀県の六角川流域では、令和元年8月の豪雨により大規模な浸水被害が発生。佐賀県（六角川水系）
- 県、市町、土地改良区が連携し、ため池の洪水調節機能の活用に係る検討会を開催。六角川水系流域治水プロジェクトにため池の活用を位置付け、豪雨に備えた低水位管理の取組を実施。

令和4年7月15日から19日の大雨時に13か所のため池において低水位管理を実施し、約170万 m^3 の貯留容量を確保。



- 震度4以上の地震発生時や大雨特別警報発表時に、市町村は、ため池管理者と連携し、防災重点農業用ため池の緊急点検を行う必要。
- 「ため池防災支援システム」は、災害発生時に(国研)防災科学技術研究所の「府省庁連携防災情報共有システム」から震度情報等を自動受信し、緊急点検対象ため池を自動抽出して市町村やため池管理者に緊急点検を依頼。市町村等からの緊急点検結果を受け取ると、即座に国、都道府県等に共有。

ため池防災支援システムの主な機能



- ため池に遠隔監視機器(水位計、監視カメラ等)を設置することにより、豪雨等発生時に、ため池の水位や状態を遠くから安全にリアルタイムで把握することが可能。
- 一部の自治体では、遠隔監視機器から得られたデータを避難指示の判断に活用。
- 農林水産省では、機器の設置や保守運用への財政支援や優良事例の紹介に取り組んでいる。

せいからょう 精華町(京都府)の取組事例



ため池の水位・状態
をHPで確認

町

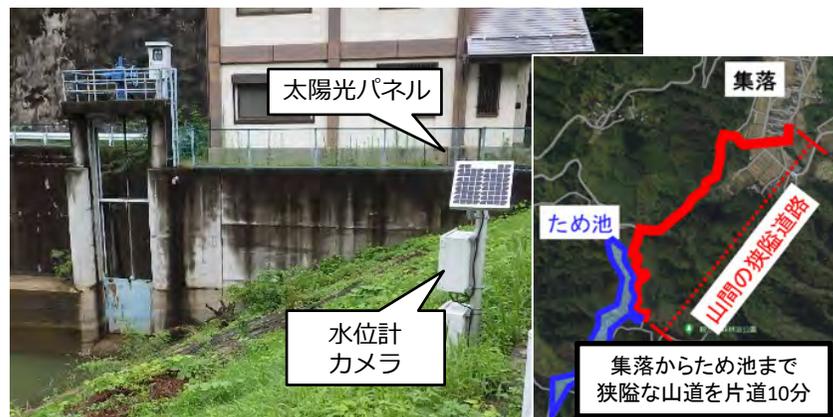
ため池管理者

避難指示

周辺住民

避難

長野県の取組事例



市町村

県

ため池管理者

避難指示

周辺住民

避難

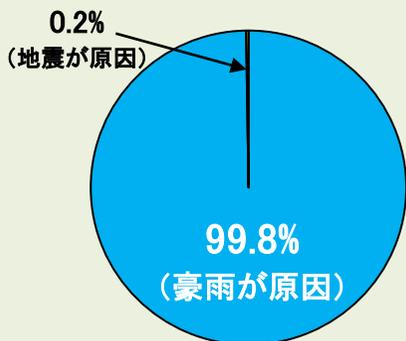
2 ため池関連のトピックス(4)

【豪雨対策の先行実施:段階的整備】

- 現在、ため池防災工事については、豪雨対策や地震対策等を一体的に整備
- **ため池決壊の99.8%は豪雨が原因**
- 豪雨や地震に対するリスク評価を行った上で、洪水吐きの改修等の**豪雨対策を地震対策に先行して整備(段階的整備)**することにより、**ため池防災工事を加速化**し、より多くのため池の決壊リスクを低減

ため池の決壊件数

(平成25年～令和4年)



ため池決壊の99.8%は豪雨が原因

ため池の決壊状況



令和4年8月豪雨によるため池の決壊
(山形県川西町)

【豪雨対策の先行整備(段階的整備)】

豪雨や地震に対するリスク評価を行った上で、洪水吐きの改修等の豪雨対策を先行して段階的に整備するもの(地震対策は豪雨対策完了後に実施)

《イメージ》



改修前の洪水吐き

洪水流下能力が不足(約 $3\text{m}^3/\text{s}$)

豪雨対策を先行整備※

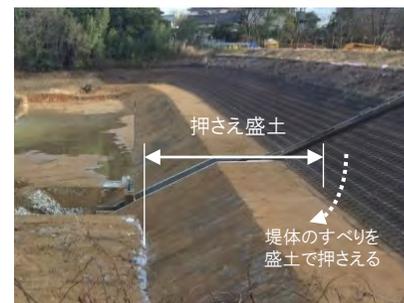
改修後の洪水吐き



洪水流下能力が約3倍に向上(約 $9\text{m}^3/\text{s}$)



地震対策は豪雨対策完了後に実施



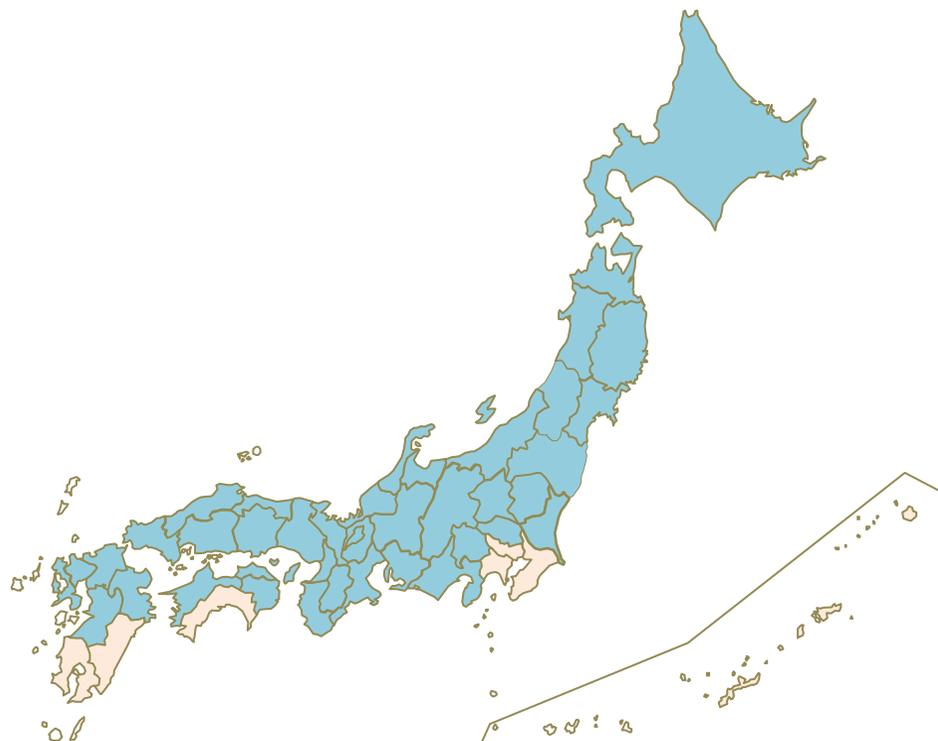
押さえ盛土による堤体の補強

※ 「豪雨対策の先行整備(段階的整備)」は、**ため池の防災工事の新たな選択肢**であり、これを行うかどうかは、**地域の実情を踏まえて、各事業主体において判断**していただくもの。

- 令和6年7月現在、ため池サポートセンターは40道府県で設立済み。
- ため池サポートセンターは、防災重点農業用ため池の管理・監視体制を強化するため、ため池管理者等への指導・助言や現地パトロール等を行っており、ため池の異状を早期に発見することなどにより、ため池の決壊リスクの低減に寄与。

ため池サポートセンターの設立状況

-  ため池サポートセンター設立済み(40道府県)
-  都県、市町村、県土連が対応



兵庫県のため池サポートセンターの取組

兵庫県内の市町、兵庫県土連を構成員とした「兵庫県ため池保全協議会」がサポートセンターを設置

【活動内容】

ため池管理者からの相談対応、ため池管理者への指導・助言、巡回点検（パトロール）、ため池管理者講習会への講師派遣



ため池管理者への指導・助言



巡回点検



ため池管理者講習会

2 ため池関連のトピックス(6)【農業用ため池が有する多面的機能の発揮】

ため池の水質保全によるオニバス生育環境の保全

まえいけ 前池（香川県善通寺市）

○経緯・きっかけ

- ・平成16年、前池に生育する絶滅危惧種のオニバスが善通寺市の天然記念物に指定。
- ・指定を機に、水利組合と自治会が「オニバス保存会」を設立し、ため池の草刈や水質保全の取組を実施。

○取組内容

- ・ため池の水を循環させることによる水質保全
- ・オニバスと競合するヒシなど水草の除去
- ・ため池の清掃
- ・小学校への出前講座
- ・オニバスの開花時期（8月中下旬）を中心とした広報

○取組の効果

- ・絶滅危惧種であるオニバスが毎年開花。
- ・オニバス鑑賞のため、観光客が増加し、地域が活性化。
- ・「オニバスの保全」という共通目標を持つことで、ため池管理者と受益者の連携が密になり、ため池の水利用調整が円滑化。



オニバス



オニバス保存会による水草の除去

生態系保全と美しい景観の形成

やちぬま 谷地沼（群馬県前橋市）

○経緯・きっかけ

- ・平成18年、多面的機能の活動組織が、地域の子供たちの活動組織と連携し、毎年11月にため池の水を抜いて、生き物調査を実施することに合意。

○取組内容

- ・ため池の堤体やその周辺の草刈、清掃
- ・子供の活動組織と連携した、ため池の水抜き、生き物調査、外来種の駆除
- ・ため池や周辺農地の法面に芝桜やヒメダワレソウを植栽

○取組の効果

- ・生き物調査で確認された外来種を駆除することにより、ため池の生態系が保全。
- ・谷地沼周辺への植生によって景観が保全され、親水公園として地域住民の憩いの場となっている。



ため池法面の植栽



ため池の水抜きで獲れた魚